Ⅴ　研究推進

安芸太田町立戸河内小学校

１　研究主題

進んで考えを伝え合い，学び合う子供の育成

～　自分の考えを説明し合う算数科指導の工夫を通して　～

２　研究主題設定の理由

これからの教育の方向性として，グローバル化する２１世紀の社会を生き抜くための新しい教育モデルの構築として，広島県版「学びの変革」アクション・プランが策定された。今後は，新しい知識・情報・技術が，政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として，飛躍的に重要性を増すとともに，それらを駆使して新たな付加価値を生み出していく「主体的な学び」を推進していくことが求められている。「主体的な学び」とは，学習者自らが能動的に学びを展開することであり，学習者基点の学び，深い学びといった面をもつ。このような「主体的な学び」を促していくためには，児童一人一人が，習得した知識やスキルを活用し，異なる価値観を持つ人々と協働して答えを導き出していくことが大切になる。こうした流れを受け，「安芸太田町教育２１・もみじプラン」においても「生きる力」をはぐくむ教育を推進することが求められている。

昨年度まで，算数科を中心に複式学級での指導方法について研修を深めてきた。また，仲間との関わりの中で自分なりの「理解」を獲得し，人と話し合って自分の考えを深める協調学習を取り入れた授業づくりにも取り組んできた。その結果，昨年度の標準学力調査の算数の通過率は，全国平均を上回る学年が増えてきた。しかし，児童が新しい課題に出合ったときに解いてみようする意欲が持てなかったり，自分の考えに自信が持てず，進んで伝え合おうすることができなかったりすることがある。児童一人一人が意欲を持ち，課題の解決に向けて主体的に取り組むためには，児童の知的好奇心を高めたり，経験や既有知識を基に考えたりすることが必要になる。それにより，自分の考えを持つことができ，友達に伝えようとする意欲が出てくるものと考える。

「主体的な学び」を促す教育活動の一つとして挙げられている「課題発見・解決学習」では，〔課題の設定〕，〔情報の収集〕，〔整理・分析〕，〔まとめ・創造・表現〕，〔実行〕，〔振り返り〕などの活動が考えられる。指導者が単元や授業の導入からゴールまでを具体的にイメージし，これらの活動を効果的に取り入れていく必要がある。その学習の過程においては，児童の学習意欲を高め，児童に考える必然性を持たせるような課題を設定したり，自分の考えを持たせ，説明し合う活動の充実を図ったりすることが大切となる。また，自分の考えを持たせるためには，課題設定の場で児童の経験や既有の知識等との「ずれ」や「隔たり」を感じさせ，学習のめあてを意識して課題の解決に向けて取り組むよう，意図的な働きかけが必要となる。

そこで，本年度は，昨年度までの取組を生かし，自分の考えを持たせること，その考えを分かりやすく友達に説明することなどに視点を当てた算数科の授業改善を中心に研修を深めていく。課題の解決に向けて児童が意欲を高め，自分の考えを友達と説明し合いながら主体的に学びを深めていく授業を目指し，本研究に取り組む。

３　研究のねらい

○　自分の考えを持ち，進んで考えを説明し合い，学び合う児童の育成を目指す。

～　自分の考えを説明し合う算数科指導の工夫を通して　～

4　研究内容

次の点に学習過程の中で留意しながら算数科の授業改善に取り組む。
　○課題設定の場を工夫し，学習のめあてを意識させて課題の解決に取り組ませる。
　○自分の考えを持たせ，図や式，表，グラフ等を活用して説明する活動の工夫を図る。

5　研究方法

・「教材分析（P）→学習指導案の作成（P）→授業研究（D）→協議（C）→次の授業へ（A)」のサイクルに基づいた授業改善に取り組む。
・自分の考えを説明し合う活動に視点を当てた算数科の授業研究を実施する。

6　研究仮説及び検証の視点と方法

研究の仮説	算数科の授業において課題設定の場を工夫し，自分の考えを説明し合う活動の充実を図ることで，学習への意欲が高まり，課題の解決に進んで取り組む児童を育てることができるであろう。	
検証の視点	方法	指標
①自分の考えを持ち，友達と説明し合うことができたか。	・学習の様子 ・ノート ・参観者及び授業者による評価 ・児童の感想	・自分の考えを説明した児童の割合１００％
②友達と協力し，課題の解決に意欲を持って取り組むことができたか。	・児童アンケート ・i-check （学習習慣・意欲）	・児童の肯定的な評価７０％以上
③確かな学力を身に付けることができたか。	・単元テスト ・標準学力調査 ・全国学力学習状況調査（６年生）	・単元テストの平均点８０点以上８５％（短期） ・標準学力調査の全国平均を上回る児童の割合８０％以上（中期）

8　研究構想図

学校教育目標

豊かな心と　確かな学力をもち　意欲的に取り組む子供の育成

めざす子供像

- チャレンジする子
- 考え学び合う子
- 思いやりのある子
- 健やかな子

研究主題

進んで考えを伝え合い，学び合う子供の育成
～　自分の考えを説明し合う算数科指導の工夫を通して　～

まとめる

【課題を見付ける力】
- ◎既習との違いを考える
- ◎課題の解決に向けて見通しをもつ

説明する

【チャレンジする力】
- ◎課題の解決に向けてチャレンジする
- ◎自分の考えを友達に伝えようとする

考える

【説明する力】
- ◎筋道を立てて話す
- ◎図や具体物などで説明する

課題をつかむ

【活用する力】
- ◎友達の考えを自分の考えに活かす
- ◎学んだ知識を活かして問題を解く

主体的な学び

☆　課題設定の工夫
☆　説明し合わなければならない場の設定

基本的生活習慣
（「早寝」「早起き」「朝ごはん」）

学習規律
（返事・姿勢）

学習集団づくり
（自己有用感・他者理解）

9　年間研修計画

	月	日	曜日	内容	備考
1学期	4	4	火	児童理解	各担当
		10	火	生徒指導，生活のきまり	生活安全部
		17	火	「学びの変革」について，平成３０年度研究推進・研修計画	教務研究部
		24	火	教材分析１（高学年），服務研修	担任，教務研究部，担当
	5	1	火	学級経営・保健室経営・事務室経営の交流	各担当
		8	火	事前研修１（高学年）	担任・教務研究部
		15	火	特別支援教育・児童理解（巡回相談１）ＰＭ	特別支援担当
		18	金	授業視察（兼校内授業研究）（高学年）　※授業のみ	担任
		22	火	研究協議（協調学習及び複式授業について）　※18 日を受けて	教務研究部
		29	火	外国語活動研修，服務研修	外国語担当・担当
	6	5	火	教材分析２（中学年）	担任・教務
		12	火	事前研修２（中学年），服務研修	担任・教務
		19	火	特別支援・児童理解（巡回相談２）ＰＭ	特別支援担当
		26	火	校内授業研究２（中学年）	担任　講師（芸北支所）
	7	3	火	特別支援・児童理解（巡回相談３）ＰＭ	特別支援
		10	火	1 学期末ＰＴＡ準備等（個）	
		17	火	1 学期末整理（個）　＊江田島合同合宿（5 年生）	
		24	火	1 学期のまとめ（各経営案，各部），服務研修	各担当，各部，保健安全
		31	火	教材分析３（１年生），「課題発見・解決学習」の単元づくり	担任・教務研究部
	8	7	火	学力向上・授業改善について，協調学習	教務研究部
		21	火	全国学力（6 年）の分析と今後の取組	教務研究部
		28	火	事前研修３（1 年生）	担任，教務研究部
2学期	9	4	火	運動会予行練習反省	保健安全
		11	火	各研修報告，服務研修	生徒指導
		18	火	生徒指導について，服務研修	保健安全部，担当
		25	火	校内授業研究３（1 年生）	担任　講師（芸北支所）
	10	2	火	事務関係	事務
		9	火	道徳教育の推進に向けて	道徳担当

		16	火	健康安全について	保健主事
		23	火	学力向上・授業改善について	教務研究部
		30	火	地域ふれあい参観日準備	各担当
２学期	11	6	火	服務研修	教務
		13	火	学習発表会予行練習反省	保健安全
		20	火	服務研修	保健安全
		27	火	特別支援・児童理解（巡回相談４）ＰＭ	特別支援
	12	4	火	標準学力調査に向けて	教務
		11	火	2 学期末ＰＴＡ準備等（個）	
		18	火	２学期のまとめ（各経営案，各部）	各担当
		25	火	教材分析５（2 年生），Ｔ授業ブロック研修（ＰＭ）	担任
３学期	1	8	火	事前研修５（2 年生），3 学期に向けて	担任・教務研究部
		15	火	次年度経営計画	担当
		22	火	平成３１年度に向けて	教務研究部
		29	火	校内授業研究５（2 年生）・服務研修	2 年生担任
	2	5	火	幼小連携（保育参観等）	幼稚園
		12	火	次年度経営計画（部・個）　※進捗状況確認	
		19	火	服務研修	担当
		26	火	1 年間のまとめ（各経営案・各部反省）	担当・部
	3	5	火	年度末ＰＴＡ準備等（個）	
		12	火	卒業式予行練習反省	教務研究部
		19	火	年度末事務整理等（個・部）	